



アキバテクノクラブ オープンセミナー Vol. 5

「日本経済と財政：2024年回顧と2025年展望」（仮題）

いつもアキバテクノクラブ（ATC）の活動にご協力いただき誠にありがとうございます。
メール通信でもお知らせのとおり、2025年3月をもちましてアキバテクノクラブの活動を終えることとなりました。オープンセミナーについても、今回がアキバテクノクラブ最後のセミナーとなります。そこで、今回のセミナーは、完全オンラインのセミナーではありますが、支えていただいた皆様と対面できる場として、秋葉原ダイビル5F産学交流ゾーンにてパブリックビューイング形式での視聴を企画しております。（詳細は下記開催要項をご覧ください）

申し込みフォームで、オンライン視聴か、パブリックビューイングでの視聴かを選んでお申込みください。またその後に懇親会もありますので、ご参加いただける方はフォームからお申込みください。

通常国会開催の最中、トランプ大統領と初めて会談を行い、8日深夜帰国後の翌朝にNHK日曜討論へ緊急出演した石破首相は、会談で日米同盟について改めて重要性を訴えるなど「ケミストリー」（相性）による成果を熱く語っていた。一方で約30年ぶりに少数与党となった国会では、自ら施策方針として国づくりの基本軸、地方創生2.0などを演説するも、過去最大となった115兆円の予算案、成立への道程は険しい。党派を超えた合意形成を図っていく中で、財政再建か、積極出動かが揺れ動いている。現在、政府・与党は財政健全化の目標の一つとして、2025年度までの国・地方を合わせた基礎的財政収支の黒字化を掲げているが、1月開催の経済財政諮問会議で内閣府が示した中長期試算では、黒字化は既に一年遅れとなっている。デフレからインフレ経済に転換し、日銀も徐々に利上げを行っている。2024年の財政検証を経て年金改革も迫る中、果たして年金・医療を含む今後の財政・社会保障改革の方向性はどうか。

今回ご登壇いただく小黒一正先生は、次世代オピニオンリーダー。毎年この時期にご登壇頂いており、通算14回目となります。「失われた30年」で歪になった財政及び政策の現状と課題を詳らかにし、展望を語っていただきます。皆様この機会に奮ってご参加下さい！

- 日 時： 3月18日（火）16：00開演（18：00終了予定）
パブリックビューイングはその後、懇親会（18:00～19:30）
- 方 式： 【完全オンライン方式】によるライブ配信を聴講していただきます。
希望者は秋葉原ダイビル5F産学交流ゾーンにてパブリックビューイング
- 定 員： 特に制限はありませんが、お早目の申込みをお願いします。【3月12日〆切】
- テーマ： 「日本経済と財政：2024年回顧と2025年展望」（仮題）
- 講 師： 小黒一正氏（法政大学経済学部教授）
- 略 歴： 法政大学経済学部教授。1974年生まれ。京都大学理学部卒業、一橋大学大学院経済学研究科博士課程終了（経済学博士）。1997年 大蔵省（現財務省）入省後、大臣官房文書課法令審査官補、関税局監視課総括補佐、財務省財務総合政策研究所主任研究官、一橋大学経済研究所准教授などを経て、2015年4月から現職。財務省財務総合政策研究所上席客員研究員、経済産業研究所コンサルティングフェロー。内閣官房・新しい資本主義実現本部事務局「新技術等効果評価委員会」委員、厚生労働省「医薬品の迅速・安定供給実現に向けた総合対策に関する有識者検討会」構成員、会計検査院特別調査職。日本財政学会理事、日本医療福祉建築協会理事、鹿島平和研究所理事、新時代戦略研究所理事、キャノングローバル戦略研究所主任研究員。2013年度より（株）アバンアソシエイツシニアリサーチャー。専門：公共経済学。
- 申込み： 右記URLよりご登録をお願い致します。 <https://fofa.jp/sangaku/a.p/101/>
※お申込み頂いた方には、開催日前日（予定）、メールにて参加URLをお伝えいたします。
※開催日時が不都合でも後日録画を視聴できますので、テーマに関心がある方は、ぜひお申込みください。
- 主催： 株式会社アバンアソシエイツ・アキバテクノクラブ
- ▼お問い合わせはアキバテクノクラブ事務局まで e-mail： info@akiba-sangaku.jp